



3月下旬に購入し、職員住宅として改修を予定している旧道職員住宅（新栄町地区）

平成26年度一般会計予算に関連した補正予算が提案されましたので、質疑の内容をお知らせします。

補正予算

旧道職員住宅
ちよつと暮らしへの活用は

竹田議員 職員の福利

施策の整備として旧道職員住宅を購入し改修する予算が計上されていますが、なぜこの時期の購入なのでしょう。また、購入後の住宅を移住・定住への活用を検討できませんか。

大野副町長 近年は、

役場や消防職員の採用で町外出身者が多く、4月時点で民間住宅を借りることが難しくなっています。10月に入ってから正式に北海道と売買の協議をしましたが、資産評価をするため、不動産鑑定を行いました。その結果報告が1月となり、12月中に購入金額を確定することができなかったため、今回の提案となりました。

また、移住・定住対策の「ちよつと暮らし」については、中学校横の職員住宅を含めて検討していきます。

皆伐事業等の減額補正 事業縮小が主な原因

又地議員 町有林の管理の中で、皆伐・間伐事業が減額補正となっています。また、生産物売り払い収入も減っています。

町有林の皆伐売り払い収入と森林環境保全整備事業は、密接な関係があると思いますので説明をお願いします。

木村産業経済課長 当該年度で、森林環境保全整備事業を活用して間伐できる場所を選定しています。皆伐事業は、この事業の対象とならないため町の単独事業として行っています。この皆伐事業は、カラマツの間伐事業の隣接地で行っていましたが、カラマツの生育状況が良くないことや雪が少ないため搬出に想定以上の日数がかかったため、事業区域を縮小したことが減額補正の主な要因となっています。

東出議員 観光交流センターの建設事業費の総額は4億円で、繰越

観光交流センター建設費 交付金は満額交付か

観光交流センターの建設事業費の総額は4億円で、繰越

明許となっています。そのうち、3億円は8月の完成後でなければまちづくり交付金として収入されませんが、満額交付となりますか。

また、最近消防団員を募集してもなり手がいないという状況であり、町として職員に団員募集の声掛けをするべきだと思えますがいかがでしょうか。

新井田総務課長 観光交流センター建設事業費の前払いは、既にまちづくり交付金として交付されることが決定しており、繰り延べ分は次年度以降となっています。

大野副町長 職員が団員になるための制限はなく現在、町内で1名の職員が団員として活躍しています。職員間で声を掛け合って団員になってもらうことは可能であり、勤務時間外のため命令行為とはなりませんが、奨励し

ていきたいと思っています。

スクールカウンセラー 位置づけと内容は

又地議員 スクールカウンセラーの報酬が減額となっていますが、カウンセラーの位置づけや内容はどのようなものですか。

また、スクールカウンセラーは、学校で何か問題になった時にその都度お願いするものなのでしょうか。

佐藤生涯学習課長 スクールカウンセラーになれる人は、臨床心理士の資格を有する人となっています。現在のカウンセラーは、大学院生のため本来の報酬より安い金額としており、その差額分が減額となっています。また、カウンセラーは学校に定期的に来てカウンセリングを行っています。